

文化遺産国際協力コンソーシアム第33回研究会

文化遺産保護の 国際動向

第1部

国際社会と国際機関の動向

第2部

日本の協力事例から

2023.11.12 SUN

13:00-17:00 (12:30開場)

会場 東京文化財研究所 地階セミナー室
(東京都台東区上野公園13-43)

定員:110名 事前申込制

入場
無料



文化遺産保護の国際動向

本研究会では、直近の世界遺産委員会の様子や無形文化遺産保護条約をめぐる動向のほか、文化財の保存及び修復の研究のための国際センターである政府間組織ICCROMの最近の活動についてご報告いただきます。併せて、海外の文化遺産保護に対する日本の国際協力・人材育成の最近の事例についてもご紹介いただき、国際的な文化遺産保護の潮流やその中での日本の役割について考えるための情報共有の場といたします。文化遺産保護に関心をお持ちの多くの方のご参加をお待ちしております。

プログラム

13:00-13:05 開会挨拶・趣旨説明
岡田 保良(文化遺産国際協力コンソーシアム副会長)

第1部 国際社会と国際機関の動向

13:05-13:35 世界遺産条約をめぐる昨今の状況
鈴木 地平(文化庁文化資源活用課文化遺産国際協力室・文化財調査員)

13:35-14:05 無形文化遺産保護条約の運用をめぐる現状
岩崎 まさみ(北海学園大学開発研究所・特別研究員)

14:05-14:35 ICCROMの最近の取り組みとプロジェクト
井川 博文(ICCROM・プロジェクトマネージャー)

休憩(10分)

第2部 日本の協力事例から

14:45-15:15 文化遺産保護に関するACCUの協力事業
国際会議「アジア太平洋地域における文化財防災の現状と課題」を中心に
森本 晋(公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所・所長)

15:15-15:55 古都ホイアンにおける日本の文化遺産国際協力 一日本橋の保存修復を中心に—
・30年間の協力を振り返って
友田 博通(昭和女子大学国際文化研究所・特任教授)
・ホイアン日本橋の保存修復における技術協力と人材育成
稲垣 智也(文化庁文化資源活用課整備活用部門・文化財調査員)

休憩(15分)

16:10-16:55 パネルディスカッション
パネリスト: 上記講演者
モデレーター: 関 雄二(文化遺産国際協力コンソーシアム副会長)

16:55-17:00 閉会挨拶
友田 正彦(文化遺産国際協力コンソーシアム事務局長)

申込方法

コンソーシアムwebサイトの
申込フォームよりお申込みください。



申込締切日: 11月6日(月)

<https://www.jcic-heritage.jp/news/33seminar>

●アクセス

〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43
東京文化財研究所 地階セミナー室

- JR鶯谷駅南口より徒歩7分
- JR上野駅公園口より徒歩13分

●お問い合わせ

文化遺産国際協力コンソーシアム事務局

〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43

(独)国立文化財機構

東京文化財研究所文化遺産国際協力センター内

Tel: 03-3823-4841 Fax: 03-3823-4027

E-mail: consortium_tobunken@nich.go.jp

X(旧twitter) https://x.com/jcic_heritage

Facebook <https://www.facebook.com/jcicheritage/>

YouTube <https://www.youtube.com/@jcic-heritage6907>



2023
11/12 [sun]

(12:30開場)

13:00



17:00